



🧆 上勝町の概要





日本で最も美しい村連合設立メンバー 2005年の設立から17年目。 〈 位 置 〉 四国 徳島県勝浦郡 徳島市中心部より車で約1時間程

〈 人 口 〉 1,472人 高齢化比率 52.99% 763世帯 (2021年10月1日現在)

〈 総面積 〉 109.68km 88.3%が山林、内80%が杉等の人工林 平地は1.8%

町の将来

若者が住みたく なるような魅力ある町

人口定住

循環型社会を リードする町

環境保存

地域経済の 活性化が図れる町

経済·雇用

「持続可能なまちづくり」

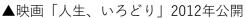


葉っぱビジネス(彩事業)

高齢者や女性に居場所と出番づくり









▲彩農家

彩(いろどり)とは町を代表する特産品で、南天や桜など、日本料理の季節感を演出する「つまもの」のブランド名です。高齢者がパソコンを使って生き生きと働ける仕組み作りがビジネスモデルとして全国から注目されています。

昭和56年2月、零下13度の異常寒波が町を襲い、主要作物だったみかんの木が全滅。当時農協の営農指導員だった横石知二氏(現(株)いろどり代表取締役社長)が、みかんに代わる作物を求め全国を模索します。大阪の寿司屋で女性客の会話をヒントに、葉っぱを売るビジネスを思いつき、昭和61年彩ビジネスがスタート。当初の売り上げは年商100万年程度で1バック5~10円で赤字であったが、現在では330種類以上の商材を供給し、年商は2億6千万円にのぼり町の一大産業になりました。

ゼロ・ウェイスト宣言

2020年までに焼却・埋立ごみをゼロに!処理よりも発生抑制を

国内初

「ゼロ・ウェイスト」 2003年9月19日 宣言

未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承するため、2020年までに上勝町のごみをゼロにすることを決意し、上勝町ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)を宣言します。

- 1 地球を汚さない人づくりに努めます!
- 2 ごみの再利用・再資源化を進め、2020年までに焼却・埋立て 処分をなくす最善の努力をします!
- 3 地球環境をよくするため世界中に多くの仲間をつくります!









「日本人は、すばらしい技術を持っているが、それに頼りすぎて水道の蛇口を閉めるという本質的なことを忘れている。このままでは、溢れはとめられない。|

ゼロ・ウェイストとは · · · · ZERO = 0 / WASTE = 浪費·無駄·廃棄物

上勝町のごみ処理

13種類 45分別

(上勝町の一般廃棄物中間処理施設)

日比ヶ谷ごみステーション

= 12/31~1/2を除き無休 7:30~14:00



コンテナの前には分別した 物がどこに行き、何にリサ イクルされるかを表示



休みの日には、子供たちも 大勢訪れます

ごみステーションは環境教育の場





資源分別ガイドブック(H28年度作成)

収集車が回収しない。 ごみは自分で持っていく。



ごみの持込み

最大15km位運搬



運搬支援事業



生ごみ以外を自分の都合 のいい時に持っていく





49世帯 **、**収集

高齢者世帯等への運搬支援事業

高齢者等、車などがないためにごみ収集が必要と判断された世帯に2ヶ月に1回収集。 粗大ごみのみ有料 270円/1車(軽トラック)

〈 2019(R1)年度 実績 〉

- ■リサイクル率 = **80.7 %** (全国第 **3** 位) (全国平均 = 19.9 %)
- ■1人一日当たりのごみ排出量 = **495g** (全国平均 = **918g**)

移住促進の取り組み

「上勝パラダイス宣言」移住ポータルサイト

上勝町は住む人にとってなぜパラダイスなのか? 暮らし、家、仕事、子育て、それぞれの分野で秘密に迫る、 上勝町移住ポータルサイトです。

移住フェアへの参加

関西、首都圏などで開催。個別相談会など、町の移住コーディネーターが対応。

移住体験(シェアハウス)

移住体験ドラマ制作

メディア等情報発信



ドラマ制作





移住フェア

1Q運動会 まちづくりはひとづくり

いっきゅう

ワン

クエスチョン

いっきゅう

1Q = 1Question × 一休さん



▲ 福原10運動会 バス停の改修

住民による課題解決の競争

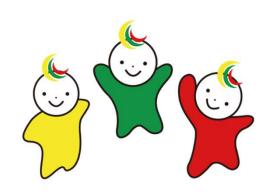
町の活性化を図るため、とんちの一休さんのように知識と知恵を使って若い世代が定住できる地域社会を、大勢の住民で自ら考え実行することを念頭に、頭と体を使って運動競技のように、地域間競技で面白く、楽しいまちづくりを展開していく。

平成5年に町内5地区に分けて、それぞれの地域から6名の委員(町職員3名配置)により組織し、第6期が終了。平成24年より各名(自治組織)で継続し開始。



上勝町地域創生

新しいアイデアから地域や経済の新たな価値を創造し、ひと・まちに大きな変革をもたらせた町のブランドである「いろどり」「ゼロ・ウェイスト」、そして「教育」に特化し、次の3事業を核とし先行して地域創生5年間に最大限の取り組みを行います。



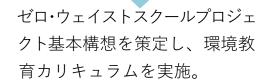
いろどり山を活用した産業振興

彩山ビジネスプランを策定し、意 欲のある企業や若者の募集を実施 し森林の現地踏査を図るとともに、 農業と林業の後継者を育成。



ゼロ·ウェイストブランドを活用した 循環型まちづくり事業

■ゼロ・ウェイストブランドの資源 を活用した新事業の創出支援



■サスティナブルアカデミー創設支援



都市の参画企業を開拓。



上勝で子どもたちを育てる教育

0歳児から、児童・生徒一人 ひとりに寄り添う個性伸長の 保育・教育、教育環境の充実。

